

「トライやる・ウィーク」をとおして

作成：姫路市立書写養護学校

私たちは、将来、パソコンなどを使った仕事をしたいと思い、今回、播磨西教育事務所へのトライやる実習に参加させていただきました。

名刺交換、電話対応、パソコンのデータ入力、新聞の切り抜きなどをしました。特に、電話対応では相手の声が聞き辛くて名前を聞き間違えてしまい、想像よりはるかに難しかったです。パソコンを使う作業では、資料を見ながら入力することがとても難しくて時間がかかりました。事務所の方たちは、しっかりと対応されていてすごいと思いました。

パソコンのデータ入力や、電話対応の時に、思った通りにできなかったり、周りと自分を比べたりして、最初は焦っていたのですが、事務所の方に「焦らなくていいよ、分からなかったら聞いて。」と言ってもらい、分からないときは焦るのではなく、まずは聞いて、分からないことをなくしていった方がいいのだと学びました。また、仕事はもちろん、すれ違った人にはあいさつする、何かしてもらったときは「ありがとう。」を言う、立った後、いすをしまうなど、当たり前な事を当たり前のようにできるようにがんばりたいと思いました。

これからはこの4日間で学んだ、分からないときは周りの方たちに助けてもらいながら、なるべく一人で悩まないように自分のやるべきことをしていきたいです。また、分からなくて困っている人たちを、事務所の方々のように助けていきたいです。

たった4日間という短い期間でしたが、事務所のみなさんが気さくに優しく声をかけてくださったことで、緊張がほぐれ、安心して頑張れました。そして、分からないことをそのままにしないという、大切なことを学びました。改めて、短い4日間でしたが本当にお世話になりました。